

令和7年度社会福祉法人榛永会事業計画

令和6年度は介護保険制度改正の年度でした。介護報酬のプラス改定と、榛東村の地域区分見直し（その他地域から7級地）は収入基盤強化の後押しとなりました。その一方、食材費や燃料費等の物価上昇が続いていることが収益の圧迫要因となっています。

介護保険事業所を営む法人として、このような状況に対応しながら、サービスの質向上、安定経営に取り組んでいきたいと考えます。

中・長期計画

1. 経営の安定

高齢者人口は2040年頃のピークに向かって増加しています。しかし、県内の特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等の入所施設はそれ以上に設置数が伸びており、競争が激化している状況です。また、事業を担う介護人材の不足も加速しており、法人を取り巻く環境は厳しさを増しています。その中で、法人として以下の取り組みを行い、経営安定を図ります。

- ①強みを生かした事業展開
- ②安定した利用者確保
- ③適正な人員の確保と定着
- ④適正な賃金の確保

2. 感染症対策の継続

新型コロナウイルス感染症のリスクは相変わらず続く状況となっています。利用者の健康・生命および法人の収益を守るために、感染予防を継続します。

施設内で感染症が発生した場合は、いち早く対策を実施し、感染拡大を最小限に留めるよう努めます。

3. ICTの活用による業務の効率化とサービス向上

令和5年度に導入した介護記録システムを基とし、補助金を活用したICT機器の更新および新規導入により、職員の業務負担軽減、効率化、ケアの質向上を目指します。

4. 大規模修繕への備え

定期調査に基づき大規模修繕計画を作成し、修繕箇所の洗い出しを行い、必要な修繕を行います。修繕を実施する場合は、県の大規模修繕補助金を含めた財源確保に努めます。

短期計画（令和7年度事業計画）

1. 安心・安全なサービスの提供

- ・法人の基本理念に則した質の高いサービスを提供します。
- ・利用者家族との関係向上に努めます。
- ・不適切な介護や虐待が発生しない職場づくりを行います。
- ・ハラスメント防止に努め、職員同士の良好な人間関係構築に努めます。
- ・ICT機器の積極的活用等により、生産性向上を目指します。

2. 感染症対策

- ・新型コロナウイルス感染症については5類に移行されておりますが、感染対策を継続し、施設内感染者の早期発見・早期収束に努めます。

3. 経営改善・安定化

- ・他事業所との連携を深め、安定的な稼働体制を構築します。
- ・高止まりしているエネルギー価格や食材・物品価格に対応するため、経費削減に努めます。
- ・予算と実績の管理を行い、経営目標の達成に努めます。

4. 目標管理

- ・各部署で年度目標を策定し、達成に努めます。
- ・策定した目標の進捗・実績管理を行います。

5. 人材確保と定着

- ・大学、専門学校や公的職業紹介機関と連携し、安定的な職員雇用を目指します。
- ・メンター制度等のサポート体制により定着率向上に努めます。
- ・最上位の処遇改善加算を算定し、職員の待遇改善を目指します。

6. 地域貢献

- ・行政、地域、学校、その他機関と連携し地域包括ケアシステムの推進に努めます。
- ・福祉避難所設置等、有事の際の地域協力を努めます。